

# 梶野公園活用計画ワークショップ

## ニュースレター第3号

発行：平成20年10月15日

本誌ニュースレターは、梶野公園活用計画ワークショップ各回成果を共有し、次回の準備に役立てていただくため、各回終了後に成果をとりまとめ、次回のご案内とともに、参加者のみなさんに送付するものです。また、各回成果を広く市民に公開するため、小金井市公式ホームページにて閲覧できるように致します。

### 第3回ワークショップの成果について

梶野公園活用計画第3回ワークショップは平成20年9月18日、婦人会館にて開催されました（出席者計17名）。

「梶野公園活用計画」は、梶野公園を整備する上での基本計画であり、「地域のみなさんが望む梶野公園の姿」や「整備後の運営・管理のあり方」をまとめるものです。「梶野公園活用計画」は、文章主体の「基本方針」と、それらを図化した「基本計画図」によって構成します。

#### 基本方針づくり

梶野公園の担う役割  
課題点の解決方針  
施設づくりの基本的な考え方  
管理運営の基本的な考え方

#### 基本計画図づくり

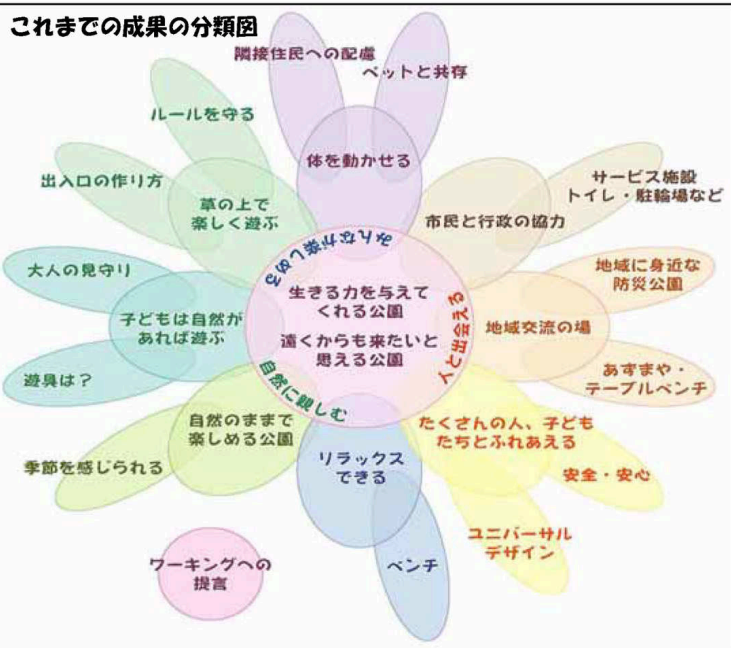
地割り（利用の仕方の組み合わせ）  
動線（利用する人の動き）  
主要施設の配置  
などを平面図に描きます

第3回ワークショップは、「活用計画を描こう」ワークの前半戦として、これまでのワークショップの成果（どんな公園にしたいか、梶野公園とどう関わりたいか）を材料として、「基本方針」に関わる話題を主に話し合うワーキングをしていただきました。その成果として、それぞれのグループで出された意見をひとまとめにし、ひとつひとつの意見に軽重をつけず、似通った意見を分類・整理しました。

#### おつかれさまアンケートについて

計4通の回答をいただきありがとうございました。今後のワークショップ運営に活かしていきたいと思っております。主な内容として、以下に要約文（文責はコンサルタント）を掲載させていただきます。

- ・ 立場（利害）の異なる方たちと話すのは難しいなと感じました。話したいことが多くて、もし私の話が人の意見を否定したり不快な思いをさせていたら申し訳ありませんでした。
- ・ 駅に隣接した住宅街のど真ん中に公園をつくるのは難しいのでは？と感じた。市民の意見を取り入れることも必要であるが、まとまる話もまとまらなくなってしまう。
- ・ 検討項目に比べて時間が少なく、十分な検討ができない中で、項目を絞らざるを得なかった。遊具やスポーツ等についても、もっと話し合いたかった。基本的には自然を生かし「何も無いこと」を特徴とした公園にすること、安全確保のため出入口や見通しの良さ等を確保すること等が望まれると考える。
- ・ 現在は人目に付きにくい場所（住宅地に囲まれている）にあるので、万人の知るところではなく、静けさを保つ自然な公園としての活用計画を思い描いているようですが、区画整理事業と対で考えたとき、ほとんど駅前といったいい場所になること、南面にできる道路の幅や歩道の有無、交通量がどのくらいになるのか（北大通りへの抜け道になるのか？）などの問題も頭の隅に入れた上での計画が必要なのではないでしょうか。また、維持管理の面でもどのようにするのか、それによっては計画内容も異なってくると思います。利用する方々の使い勝手、利便性ばかりを求めていった場合、後に困った問題も起きるのではと少々心配。目を見開いて、観点を大から小へと有効利用をまとめていけたらと考えます。



### 第3回ワークショップの成果

ワーキングのまとめとして、出されたご意見を内容毎に整理しました。各意見文の末尾（ ）内には、意見の出所として赤、青、黄、緑の各グループ名を記載しています。

#### 基本的な内容

##### 生きる力を与えてくれる公園

幼児の利用を第一に考えるべき。(青)

##### 遠くからも来たいと思える公園

近隣が利用する公園で、主な利用層は幼児やお年寄り。(黄)

##### 地域に身近な防災公園

防災公園のテーマは優先順位が一番高い。(青)

防火水槽は水道を貯めるタイプのようなが、雨水を貯めて使う方式もあり得るのでは。(黄)

自転車の不法駐車は災害時も邪魔になるため、絶対に防止すべき。(緑)

子どもたちの体験としても、管理者の見守りのもとで火を使える公園としたい。(赤)

#### 安全・安心

暗すぎるので照明をしっかりしてほしい。(青)  
公園に利用者がいる（人目がある）とモラルの維持に役立つ（現状でも保育園児の利用時間帯は犬の放し飼いやゴルフの素振りなどをする人がいない）(青)  
常時利用者のいる公園（いつも人目のある公園）は安全・安心。ゲートボール、プレイパーク、花づくりなど毎日公園に来たくなる活動を誘致するとよい。アドプト制度の活用も役立つ。(青)  
ポリシーは安全安心な公園で管理がしやすいこと。そのため施設をつくるのが大事。(黄)  
現状の緑のいいところは活かしつつ、死角をつくらないようにしたい。(黄)  
公園に隣接する交番があるとよい。(黄)  
梶野公園を気に入っている理由は安全だから。(緑)

#### ユニバーサルデザイン

バリアフリーのつくり方が大事。(青)



## 活用にかかわる内容

### 自然に親しむ

#### 自然のままで楽しめる公園

##### 季節を感じられる

落ち葉は行政がしっかり管理してくれるようになったので、昔に比べ、迷惑に感じることは少なくなった。(青)  
落ち葉は遊びの要素でもあるので、ある程度は見過ごしてほしい。(赤)

##### 子供は自然があれば遊ぶ

この公園の大きな特徴である自然の要素は残すべき。(緑)

##### 遊具は？

あれもこれもつくるのはたいへん。(黄)  
緑町の公園のような砂場がほしいがネコの糞が心配。衛生的にどうか(黄)  
既存樹木を活用した遊具がほしい。(赤)

##### 大人の見守り

プレイパークは、公園に人目があるようにするための活動のひとつとして役立つ。(青)  
世話人、プレイリーダーがいるといいのでは(黄)  
バーベキュー広場はいらないが、たき火体験ができるといいのでは？(煙の問題もあり、難しいかも。場所による)(黄)  
武蔵野公園でプレイパークをやっている。大きな子が小さな子を教える様子は理想的。(黄)

##### 草の上で楽しく遊ぶ

子どもたちは草や土が好き。現状は貴重なのでぜひ残してほしい。(黄)  
現況を活かした自然主体の公園が基本でそれを乱す施設は置かない方がいい。(赤)

##### 出入口の作り方

幼児のためには、出入口の現状は最良といえる。(青)  
フェンスのかわりに生垣、土手で仕切るとよい(災害時に逃げ込める、子どもが飛び出さない)。(青)  
違法駐車を防げるか(駅前の駐輪場は有料なので効果なし。これも突き詰めればモラルの問題)。(青)  
違法駐車を防ぐために、南側は全て解放ではなく、はっきりとした出入口をつくる。(青)  
夜間はやはり不安。常時開放すべきか、夜間はカギをかけるか。カギをかけるが非常時は開けられるというやり方もあるのでは。(黄)  
公園の見通し、子どもの飛び出し防止、不審者の侵入のコントロール、災害時の逃げ込み、などを考え、外周を低い生垣で囲うとよい。(緑)  
東側(けやき保育園側)は現状と同様に小さい入口、南西角に入口をつくり、通常は小さく、災害時は大きく開くつくり方に。(緑)  
誰でも自由に入れるのが公園ということが前提。(赤)  
南側をオープンにする際も子どもの安全を考える必要がある。(現在は柵があり、安心して子供を遊ばせられる)(赤)  
災害時の逃げ込みやすさを考慮し北側にも入口をつけてほしい。(赤)

##### ルールを守る

利用の管理が大事。(青)  
子供のモラルは学校に話を通せばある程度守られるが、大人のモラルを守らせる手段がない。(青)  
騒音の問題は敷地の狭さに限界があるから。(青)  
どういう手順でルールをつくるかを考えるべき。(黄)  
ある程度、時間を区切って利用させるルールがあるといいが現実には難しい。(黄)  
やってはいけないことは看板で注意し、それでもマナーがひどいようなら警察へ連絡する。(黄)  
ルールの内容をしっかりと考える必要がある。(緑)  
ルールというよりマナー(モラル)を守る公園に。(赤)

### みんなが楽しめる

#### 体を動かせる

少年野球のコートは敷地に入らない。ソフトボールまたは少年野球の内野だけでもできないか。できれば土がいい。(現

状の草は貴重)(黄)

小学校が芝生化されるので野球はしにくくなる。今野球をできる場所は2つしかない。場所がなさすぎる。(黄)  
スポーツ利用者しか使えない時間帯ができてよいのか。多目的に使えるようにしたい。スポーツ利用者から利用料金を取る方法はどうか。(黄)

土日と平日の利用の仕方が異なることにも配慮したい。たとえば少年野球や少年サッカーは主に土日に利用する。(黄)  
サッカーや野球は栗山公園でできる。スポーツ施設としてしっかりしたものがこの公園につくれるのか。(緑)  
公園の北側など部分的にもゲートボールができる場所をつくりたい。(ゲートボールを許可すれば、他のスポーツも許可を求められるだろう。)(緑)  
スポーツ施設をつくる場合は、他の利用と競合しないようにする必要がある。(緑)  
スポーツ利用させるにはきちんとしたルールをつくり守る必要がある。(緑)  
スポーツ利用者の年齢制限をするとよいのでは。(緑)  
騒音が問題になるので、利用時の音をコントロールできることが大事。(緑)  
ゲートボール場をつくり、子どもとの交流など多目的な利用を考えたい。(ゲートボール場の利用は午前中が主)(赤)  
やはりボール遊びはさせない方がいい。(赤)

#### 隣接住民への配慮

防球フェンスは必要。(青)  
カラーボール(ビニールボール)やドッジボールくらいならよい。(青)  
してよい遊びのルールは、音が小さい、騒がない、他の人の迷惑にならないこと。(青)

#### ペットと共存

犬を放し飼いできる広さは公園にはない。(赤)

#### 市民と行政の協力

行政の協力が前提だが、ボランティアによる運営団体を発足したい。(赤)

#### サービス施設(トイレ・駐輪場など)

トイレは公園になくはならない施設であり絶対必要だが、管理は問題。24時間使えるようにするかが今後の課題。(赤)

#### 人と出会う

##### 地域交流の場

人間関係をつくりにくい時代(面倒がられる)だが、これからはコミュニケーションが大事。(青)  
現状は自治会や自主防災組織がないが、防災のために地域のつながりを強化した方がよい。(青)  
花や野菜を楽しむ団体などもある。地域にも花を植えたいという人がいるのでは。(黄)  
いろいろと活動している団体もあるので、参加できるといいのでは。(黄)  
バーベキュー利用をさせる広さはこの公園にはない。小金井公園と役割分担すべき。(赤)

#### あずまや・テーフルベンチ

あずまやはお年寄りの休憩のために必要な施設。(赤)

#### たくさんの人、子供たちとふれあえる

全ての世代への対応が理想的だが難しいので、子どもとお年寄りの利用が主に考えるとよい。(黄)  
特に子どもお年寄りが楽しめる公園。子どもとお年寄りが元氣だと街が明るくなる。(黄)

#### リラックスできる

##### ベンチ

## 次回(第4回)のご案内

第4回では、「活用計画を描こう」の後半戦として、第3回ワークショップの成果をもとに、主に基本計画図をつくるワーキングを行います。みなさんぜひご参加下さい!!!

日時：平成20年10月23日(木)19:30~21:30

会場：小金井市婦人会館